



今月の話題

- EU及び米国 NEES の耐震研究施設合同ワークショップに出席
- UNESCO/IPRED ペルー(リマ) 会合出席
- カリキュラム部会開催
- ジェネラルミーティング
- 個人研修

研修 データベース

[IIEENET\(地震防災技術情報ネット\)](#)

[IIEE-UNESCO レクチャーノート](#)

[Eラーニング](#)

[シノプシス・データベース\(修士論文概要\)](#)

[Bulletin データベース](#)

地震データベース

[2011年3月11日東北地方太平洋沖地震](#)

[地震情報](#)

[宇津カタログ\(世界の地震被害\)](#)

[地震カタログ\(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等\)](#)

EU 及び米国 NEES の耐震研究施設合同ワークショップ出席

国際地震工学センター上席研究員 犬飼 瑞郎

2013年5月29-30日に、EU及び米国 NEES の耐震研究施設合同ワークショップに参加しました。建築研究所と EU・共同研究センター・市民防護セキュリティ研究所・欧州構造物安全性評価研究部門(EU, Joint Research Centre, Institute for the Protection and Security of the Citizen, European Laboratory for Structural Assessment Unit)は、1995年から2005年まで、共同研究を実施しています。ワークショップでは、当時の旧交をあたためることが出来ました。

本ワークショップは、EU 耐震研究施設共働プロジェクト SERIES(Seismic Engineering Research Infrastructures for European Synergies)(コーディネーター:ギリシャ・パトラス大学、研究期間:2009~2013の4年間)の終了時に、EU以外の国々にも参加を呼びかけて、実施されたものです。

本プロジェクトでは、EU内の11カ国にある23の研究機関またはコンサルタントがコンソーシアムを構成し、複数の研究機関が協調して、建築物等構造物に関する実験的研究・若手研究者の育成等が実施されました。

元研修生がいる EU 加盟国は、オーストリア、ブルガリア、チェコ、フィンランド、ギリシャ、ルーマニアであり、また、マケドニア共和国、トルコにも、元研修生がいます。本ワークショップでは、お目にかかることはできませんでしたが、いずれ再会できることを楽しみにしています。

参考: http://www.series.upatras.gr/workshop_Ispra
<http://www.series.upatras.gr/overview>



SERIES ワークショップ

論文募集

IISEE Bulletin は、現在地震学、地震工学、津波に関する論文を募集して降ります。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい。

UNESCO/IPRED ペルー(リマ)会合に出席

国際地震工学センター長 横井 俊明、主任研究員 鹿嶋 俊英

2013年6月4日～8日までペルー・リマに滞在し、CISMID-UNI(日本ペルー地震防災センター、ペルー国立工科大学)で開催された IPRED 第 6 回会合他に参加してきました。

会合には、9ヶ国(チリ・エジプト・エルサルバドル・インドネシア・メキシコ・ペルー・ルーマニア・トルコ・日本)17名(内日本から6名)が出席し、UNESCO-IPRED ワークショップ「将来の地震に備える」を含めて活発な議論と有意義な視察が行われました。

IISEE としては、平成 24 年度における建築研究所の IPRED 関連活動を報告すると共に、国際地震工学研修の研修生募集・要望調査への協力要請、IISEE Bulletin の活性化に繋がる提案等を行いました。

最後に、来年の会合がエジプトで開催(主催:国立天文地球物理研究所(NRIAG)・UNESCO)されることが承認され、会合は無事終了しました。本会合に関し、ご協力・ご支援いただいた皆様に感謝申し上げます。

なお、会合では、帰国研修生の活躍の様子も聞くことができました。現地でも再会できた研修生は、有名な Julio Kuroiwa 氏の他に Jenny、Lourdes、Roy、Raul Alvalez、Edgar Pena、Md. Ridwan です。皆元気でした。



第6回 IPRED 会合



帰国研修生: Jenny,
Lourdes, Roy



国際 WS「将来の地震に備える」



帰国研修生: Raul Alvalez,
Edgar Pena, Md. Ridwan





楽しむのは今です。

連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEE と卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国でのご活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するように誘い下さい。

iiiseenews@kenken.go.jp
http://iisee.kenken.go.jp

**バックナンバーは
下記をご覧ください。**

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>

国際地震工学研修カリキュラム部会の開催



司会をする石山部会長
(後列左から3人目)

国際地震工学研修カリキュラム部会は、IISEE の研修プログラムや活動について、有効な助言を行うことを目的として設置されています。

委員は、18名の大学教授や公的機関の研究者にお願いしています。委員の内訳は、地震学分野から5人、津波分野から3人、地震工学分野は、石山祐二部会長(北海道大学名誉教授、元 IISEE 職員)を含む7人、土木工学分野から3人になります。

今年の会議は6月17日に東京・新橋で開催されました。15人の委員と IISEE スタッフが出席し、IISEE のカリキュラムの現状と今後について検討しました。

研修生とのプログラム

ジェネラルミーティングと親睦パーティ

研修生は、IISEE での8か月間の教室での授業を終え、6月1日から3か月間の個人研修を開始しました。5月31日には、研修生とスタッフが忌憚のない意見交換を行うジェネラルミーティングを開催しました。

ジェネラルミーティングの後は親睦会です。研修生のバンドがギターやキーボードの演奏を行い、参加者は軽食と陽気なおしゃべりを楽しみました。地震工学コース1名と津波防災コース1名、計2名の研修生がつくばを離れ、それぞれ豊橋市と山口市に滞在します。彼らが今度 IISEE に戻ってくるのは7月18日—19日の中間発表の日になります。



親睦パーティ

ジェネラルミーティングの後は親睦会です。研修生のバンドがギターやキーボードの演奏を行い、参加者は軽食と陽気なおしゃべりを楽しみました。地震工学コース1名と津波防災コース1名、計2名の研修生がつくばを離れ、それぞれ豊橋市と山口市に滞在します。彼らが今度 IISEE に戻ってくるのは7月18日—19日の中間発表の日になります。

*** “広がれ、IISEEネットワーク” 研修生を推薦して下さい。応募要領は各国JICA事務所まで。**

2013年 個人研修一覽

地震学コース

No.	名 前	国 名	テーマ(仮題)
1	Mr. XIE,Quan-Gai	中国	地震早期警報に与える地盤の影響
2	Ms. LIAN,Chao	中国	B- Δ 法の適用における地域依存性に関する研究
3	Mr. WIRADIKARTA Chiko Bhakti Mulia	インドネシア	いわき市役所における表面波を利用した地盤構造探査
4	Mr. SABARANI Andiyansyah Zulfikar	インドネシア	インドネシア・西ジャワにおける緊急地震速報の期待される効果
5	Mr.RAJABI BANIANI Sepehr	イラン	イラン北西部地震とその余震によるサイト効果の同定
6	Ms. FLORES A. Petronila Guadalupe	ニカラグア	ニカラグアにおける地震のモーメンテンソル解析による応力場の推定
7	Mr. SIFUENTES J. Armando Israel	ペルー	ペルーにおける高層ビルの為の入力地震動
8	Mr. LUMBANG Rey Macapagal	フィリピン	大地震の震源再決定によるフィリピン断層の地震履歴
9	Mr. NYAGO Joseph	ウガンダ	ウガンダに適用可能なローカルマグニチュード

地震工学コース

No.	名 前	国 名	テーマ(仮題)
1	Ms.GALSTYAN Nazeli	アルメニア	アルメニアの RC 建物を対象とした免震レトロフィット
2	Ms. RIVERA R. Rocio Cecilia	チリ	強震観測による免震建物の挙動
3	Ms. PEREZ A. Yesica Hypatia	ドミニカ共和国	ドミニカ共和国の RC 建物を対象とした耐震診断・耐震補強
4	Mr. WAY Phyo Linn	ミャンマー	ミャンマーの RC 建物に適用可能な耐震診断法
5	Mr.KHADKA Bir Bahadur	ネパール	ネパールの RC 建物を対象とした耐震診断・耐震補強
6	Mr. KAPI Gilbert	パプアニューギニア	日本とパプアニューギニアの手法を用いた橋梁の性能評価
7	Ms. KOCAK Pinar	トルコ	庁舎建物の非線形応答解析と損傷評価
8	Mr. ANNAYEV Guvanch	トルクメニスタン	免震建物における応答低減効果の評価

津波防災コース

No.	名 前	国 名	テーマ(仮題)
1	Mr. REYES G. Mauricio Esteban	チリ	チリ沿岸都市(イキケ)における津波リスク評価
2	Ms. SU Hninn Htwe	ミャンマー	ミャンマー沿岸における津波ハザード評価
3	Mr. WAREK Martin Kele-eh	パプアニューギニア	パプアニューギニア沿岸における津波ハザード評価
4	Mr. GALDIANO Julius Mandigma	フィリピン	ルソン島リングエン湾の津波シミュレーション フィリピンにおける津波ハザード評価および直前津波警報